

目標達成計画

作成日：令和元年10月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災を想定した避難訓練は年2回行っているが、その他の災害に対する対策はどうか？不鮮明になっている部分はないか？	災害時、被害を出来る限り最小限に留め、利用者様・職員を守る対策・働きかけ。	マニュアルがあるため、職員への再確認。消防を含む、行政への災害時における対応策を確認する。近隣(福祉村・民生委員)など連携の再確認。家族会を開催し、災害時における対策について話し合う。	12ヶ月
2	4	運営推進会議に少人数での固定化がされている。参加しやすい環境整備が必要と思われる。	今回の天災(R.1.9月台風)による災害を受け、ご家族様と連携し、ご利用者様や職員を守るため、緊急時に備えた連携を図る関係づくりが急務と考える。	運営推進会議を茶話会・意見交換の場と気楽にとらえて頂けるように、今回の天災をきっかけに家族会の開催を近く開催予定。以降については、その場で会議参加についての問題定義をし、意見を求めていく。	2ヶ月
3	26	ケアプラン作成について・・目標達成において、数値設定できる項目は数値化し、達成度合いが分かりやすくする工夫する。	夢のあるプランづくり。(〇〇〇に行きたい！など)日々の生活が楽しいものになるよう目標を決めたり、ほっこりできるプランづくり。また目標に向けた生活プラン。	生活機能訓練記載事項について、PTさんによる握力測定数値など、具体的な数値の分かるものについては、現状を記載し、その後も動向を追跡していく。〇〇へ行きたい！などの夢をかなえるために、歩行訓練をするなど、具体化した記載をして行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。